

高美小学校内 TM だより

R8.5.18.NO.4

5年1組の社会「日本の地形や気候」の授業におじゃましました。

★前時とのつながり★

授業のはじめには、前時に、桜の開花時期や紅葉が見られる時期についての資料を比較しながら出し合った「はてな」を確認する場面がありました。子どもたちが考えた疑問や予想をもとに、「なぜそうなるのか」を確かめていこうとする流れがつけられていました。前の時間の学びを振り返りながら、子どもたちの「はてな」から本時につなげていくことで、子どもたちが見通しをもって学習に入っている様子が見られました。前時のふりかえりを受けて、本時のめあては「日本の気候の特色を知ろう」と示されました。

★同じ資料で考える個人学習★

めあてを全員で確認したあと、教科書の内容に限定して調べる時間が設定されていました。全員が同じ資料をもとに考えることで、その後の交流につなげやすくなっているようでした。インターネットや本を使って自由に調べる場合もありますが、そうすると情報が広がりすぎてしまい、本時で学ぶ内容からそれてしまうことがあります。井口先生は、あえて範囲を絞ることで、「どんなことに気づいたか」「どんなはてなが生まれたか」に焦点が当たりやすくなるよう工夫されていました。子どもたちからは「もう少し時間がほしい」という声も聞かれ、主体的に学習に向かおうとする様子を感じられました。

★気づきとはてなをもとにした交流★

全体交流では、それぞれの班ごとに気づいたことや、出たはてなを発表しました。井口先生はそれぞれの意見を板書しながら整理されていました。すべての班の発表が終わると「日本には四季があり、変化がはっきりしている」と子どもたちの言葉を使ってまとめました。学習の最後には、次の時間の予習にも取り組んでいました。次時の学習内容について、自分で教科書を読みながら、気づきやはてなをワークシートに整理していました。本時で身につけた学習の進め方を未習内容で行うことで、学び方を次につなげようとしていました。

～まとめ～

前時に生まれた「はてな」をもとに学習をスタートし、調べたことを交流する中で、新たな疑問へとつなげていく流れが見られました。また、教科書に範囲を絞って調べる時間を設定することで、全員が共通の資料をもとに交流しやすい工夫も見られました。全体交流では、「気づき」と「はてな」を行き来しながら考えることで、子どもたちは友だちの意見や自分の経験と結びつけながら、学びを広げたり深めたりしているように感じました。さらに、次の内容を予習する時間も設定されており、これまでの学びを次の学習へつなげながら進めていこうとする姿も見られました。こうした積み重ねで、子どもたちは勉強の仕方を身につけていくのではないかと感じました。井口先生、5年1組のみなさん、ありがとうございました。

